

的矢湾アマモモニタリング状況

調査地点：坂崎

方 式：マット方式

調査日時：令和3年2月25日

アマモの様子：体高30～50センチ。

港西側海底はこれまで同様、多量の枯れ葉・竹類・流木などで覆われており、アマモは確認できなかった。

港内では、11月調査時点で数十本のアマモが確認されていたが、体高3センチ程度非常に小さいものであった。これらは、今回の調査では更に分布が広がり、体高も50cm程度にまで成長しているものも認められた。

港内地点



堤防先端部



港外西地点



的矢湾アマモモニタリング状況

調査地点：オガエ

方 式：マット方式

調査日時：令和3年2月25日

アマモの様子：体高 約25センチ

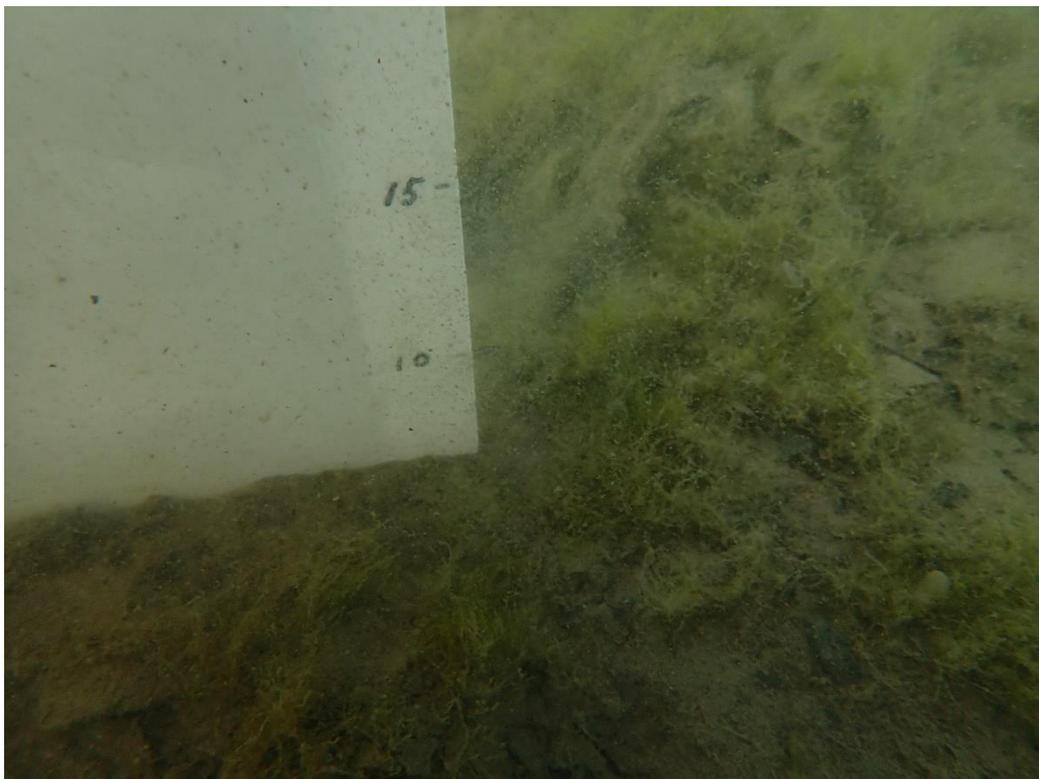
11月調査時に合計2本確認することができたアマモのうち、1本は確認することができなかったが、新たに平成30年度マット設置以降確認することができなかった南側地点にて、新たに1本発芽を確認することができたことは、特筆すべき点である。今回確認されたアマモは若干痩せており、茎部分が細めであった。

マット上の堆積は、安定した状態でこれまでと同様であり、南側で約5～7センチ、中央付近から北側は約5センチであった。

マット南側周辺



マット南側から中央にかけて



平成 29 年度設置マット

